



もっと知りたい

京都の遺跡 第9号

埋文センターの調査から

速報

かやのき 栢ノ木遺跡 (井手町)

京都府綴喜郡井手町の段丘上には、聖武天皇を支えた橘諸兄の創建とされる「井手寺」跡があります。その井手寺跡の推定寺域の外、東50mほどの位置から塔基壇跡が発見されました。

調査を行ったのは、塔基壇跡の一部ですが、各辺の中央に階段が設けられており、東西15.3m、南北15.1mに復元できます。基壇は、地覆石の上に基壇化粧として自然石を積み重ねたもので、基壇上面は開墾などで壊されており、礎石は失われていました。中心伽藍の外に塔のための施設「塔院」を設けた構造で、基壇の規模から五重塔が建立されていたと推定されます。



塔基壇跡全景 (北西から)



基壇のほぼ中央で、地鎮のために用いられた富壽神宝(ふじゆ 818年製造開始)が出土しました。基壇の周囲からは奈良時代中期から平安時代前期にかけて作られた瓦が大量に出土しています。この出土した瓦は奈良時代のもものが半分以上を占めています。これらのことから橘諸兄の時代に建築を開始した塔を嵯峨天皇の皇后となったひ孫の嘉智子が完成させたのではないかと、または、嘉智子が皇后になったのを機に橘氏が塔を再建したのではないかと考えられます。

遺物が語る京都の歴史

よさのちようあつえいせき 人面付土器 (与謝野町温江遺跡・京都府指定文化財)



与謝野町温江遺跡の弥生時代前期の環濠内から出土しました。長さ9.2cm、幅5.6cmを測り、土器に付けられた把手状の装飾と考えられます。頭部の鶏冠状の突起が特徴的で、何らかの装身具を表現しているものと思われる。当時の習俗とともに人の顔を映すものとして貴重なもので、与謝野町立古墳公園にはわ資料館で保管・展示されています。

発掘調査

よもやまばなし

遺物の収納と活用



洗浄や接合、実測などの整理作業が終了した遺物を整理箱に収納し、収蔵庫の棚に保管しています。展示や資料調査の際、すぐに見つけられるように遺跡名や報告書の号数、挿図番号などを整理箱に直接マジックで書いて、出番に備えています。

【発行日】令和4年1月

【編集・発行】

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40番地の3
<http://www.kyotofu-maibun.or.jp>



剣と刀

左 亀岡市時塚遺跡出土磨製石剣

右上 京丹後市湯舟坂2号墳出土双龍環頭大刀柄頭 (所蔵・提供 京丹後市教育委員会 撮影 奈良文化財研究所栗山雅夫氏)

右下 京丹後市高山12号墳出土双龍環頭大刀柄頭 (所蔵 京丹後市教育委員会) ※当センターのロゴマークの元になっています。

弥生時代



古墳時代の剣

古墳時代に入ると剣は大きなものが増えていきます。大型の剣には幅広のものや刀身部が蛇行する蛇行剣など、武器としては実用的でないものも見られます。(11~16)

だこう 蛇行剣

蛇の持つ力にあやかって造形されたと考えられます。全国で80点ほど、府内からは4点が出土しています。中規模古墳から出土することが多いようです。



蛇行剣

石の剣

弥生時代になると武器の一つとして短剣が登場します(1~5)。基部側に皮を巻いたり、木製の柄を握る部分に付けていました。6のように祭祀具として用いられたと考えられる銅剣を模した石の剣もあります(6)。

鉄剣と鉄刀

弥生時代、鉄はとても貴重なものでした。京丹後市奈具谷遺跡から中期の木製の剣の柄が出土しており、この頃から鉄剣が存在したようです(7)。丹後地域の後期の墳墓には中国製の素環頭鉄刀や朝鮮半島からもたらされた鉄素材で作られた鉄剣などが副葬されています(8~10)。



銀装の大刀 17 ◎



金銅装の環頭大刀 18 ◎



三輪玉付の大刀 19 △

古墳時代の装飾付大刀

古墳時代後期になると金銅装や銀装の立派な大刀がヤマト王権の工房で製作されて、各地の有力者に配布されます。(17~19)

◎重要文化財
○府指定文化財
△府暫定登録文化財

古墳時代

近代	江戸時代
近世	安土桃山時代
	戦国時代
中世	室町時代
	南北朝時代
	鎌倉時代
古代	平安時代
	奈良時代
	飛鳥時代
	古墳時代
古墳時代	後期
	中期
	前期
弥生時代	後期
	中期
	前期
縄文時代	晩期
	後期
	中期
	前期
縄文時代	早期
縄文時代	草創期

〈掲載資料出土遺跡〉1 京都市東土川遺跡、2・3 久御山町市田齊当坊遺跡、4 大山崎町下植野南遺跡、5 亀岡市時塚遺跡、6 舞鶴市志高遺跡、7 京丹後市奈具谷遺跡、8・9 京丹後市浅後谷南墳墓、10 京丹後市左坂26号墓、11 京丹後市愛宕神社1号墳、12・15 城陽市芝山V-2号墳、13 綾部市奥大石2号墳、14 南丹市城谷口2号墳、16 京丹後市奈具岡北1号墳、17・18 京丹後市湯舟坂2号墳、19 宇治市坊主山1号墳

〈所蔵〉2・3 久御山町教育委員会、6 舞鶴市教育委員会、7・10・11・17・18 京丹後市教育委員会、13 綾部市教育委員会、14 南丹市教育委員会、19 京都府教育委員会、その他 京都府埋蔵文化財調査研究センター

〈写真提供〉10・17・18 京丹後市教育委員会
〈撮影〉17,18 奈良文化財研究所栗山雅夫氏、19 牛島茂氏